

がん化学療法処方

プロトコール名: 大腸癌Pmab+modFOLFIRI療法(1クール14日)
(下に実際の投与方法を記載)

投与日 d1	薬品名	投与経路	投与時間
	① 生理食塩液 50mL(プライミング用)	div	—
	② ベクティビックス点滴静注 6mg/kg + 生理食塩液100mL インラインフィルター使用	div	60分
	③ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
	④ パロノセトロン静注0.75mg + デキサート注射液6.6mg +5%ブドウ糖液50mL	div	15分
	⑤ レボホリナート点滴静注 200mg/m ² + 5%ブドウ糖液250mL	div	120分
	⑥ トポテシン注 150mg/m ² + 5%ブドウ糖液250mL レボホリナートとトポテシンは同時滴下開始	div	90分
	⑦ フルオロウラシル注 400mg/m ² + 5%ブドウ糖液50mL 点滴50mlにして5分で急速点滴	div	5分
	⑧ 5%ブドウ糖液50mL(フラッシュ用)	div	5分
	⑨ フルオロウラシル注 2,400mg/m ² + 5%ブドウ糖液100mL 携帯用ポンプで全量100mlに調製	div	46時間

プロトコール適応時表示コメント

KRAS遺伝子野生型に適応する

照射併用時照射線量

グレイ (備考欄)
